

林業イノベーション推進の加速化

政策提言先 総務省・農林水産省・林野庁

政策提言の要旨

原木生産における生産性・安全性の向上を図るため、本県ではこれまで高性能林業機械の導入に積極的に取り組んできましたが、作業道内や緩傾斜地での活用に限られており、より広範囲での活動や運転の自動化等が求められています。また、ICT技術を活用したスマート林業を展開していくための通信環境の整備が必要です。

そのため、急峻な地形においても高い生産性を有する次世代型林業機械の普及促進や、山岳地帯における安定した通信環境の整備を促進するよう提言します。

【政策提言の具体的内容】

- 1 急峻な地形においても高い生産性を有する次世代型林業機械の普及促進
 - (1) 本県をはじめとした急峻で厳しい地形条件における取組の推進
 - ①外国製等の林業機械の検証・改良を行うモデル事業の創設
 - ②次世代型林業機械の研究・開発の推進
 - (2) 伐採・造林作業の機械化ロードマップの取組を加速させるための予算の拡大
- 2 山岳地帯における安定した通信環境の整備
通信環境を簡易に構築することができる通信技術の調査・研究及び機器の研究・開発の推進

【政策提言の理由】

- ・ 新型コロナウイルス感染症を受け、木材需要の低迷から林業の経営環境が悪化していることに加え、経済連携協定による関税の段階的な削減により、今後も国産材の活用において厳しい価格競争が続くと考えられます。
- ・ こうした中、製材工場などに安定的に原木を供給していくためには、生産性の向上によるコスト縮減に向けた劇的な改革が不可欠です。
- ・ 林業の現場は労働災害が多く、労働負荷も大きいことから、さらなる生産コストの低減に向け、本県をはじめ特に厳しい地形条件の地域において海外製の林業機械などを導入し、生産性等の実証データを取得・検証するモデル事業の創設や、高い生産性を有する次世代型林業機械の開発などにより次世代型林業機械の普及促進を進めていくことが重要です。
- ・ また、林業イノベーション現場実装推進プログラム（林野庁）における伐採作業・造林作業の機械化ロードマップに示す技術開発に必要な予算を拡大し取組を加速させ、早期に林業事業者への次世代型林業機械の普及促進を進めていくことも必要です。
- ・ さらに、今後ICT技術を活用した自動・リモート運転などのスマート林業を展開していくためには、山岳地帯における安定した通信インフラの整備が必要となります。
そのため、林業事業者が作業エリアの通信環境を簡易に構築し、利用することができるよう調査・研究に取り組んでいただくとともに、現場での活用にあつた機器の開発が必要となります。

【高知県担当課】 林業振興・環境部 木材増産推進課